

行ってこーわい 会ってこーわい

「安川真心さん」

長崎国体の馬術で活躍
馬と共に掴んだ4位入賞

No. 75



©(株)ユナイテッドフォトプレス

人ではなく、馬がパートナー。しゃべらない馬と心を一つにして、華麗さや速さを競う馬術で活躍する安川真心さん＝筒井＝。今年10月に行われた長崎国体の少年団体障害飛越で4位、自由演技馬場馬術で8位入賞を果たしました。

馬に乗り始めて10年以上経った今でも、「馬が好きで、やめたらストレスで死んじゃう」と話す真心さん。馬を愛でる真心さんは「人間の動きで馬は動きが変わってしまう。馬の邪魔にならないようにしています」と話し、馬を思った乗馬をしています。だからこそ、相手の県の馬に乗る(※)障害飛越でも、たった3分の練習時間で乗りこなし、結果を残しました。

それだけでなく、努力も重ねています。中学校ではテニスと、高校では看護の勉強と両立。その中で、高知まで練習に通ったり、今年の1月からは馬との関係づくりのため、名古屋まで1人で遠征したりもしました。「いつも楽しいだけではありません。でも、馬の顔を見れば頑張れます」と話す真心さん。3年後のえひめ国体も見据え、馬と共に走り続けます。



- 1 長崎国体で競技する真心さん(障害飛越の様子)
- 2 笑顔を見せる真心さん

※2人戦で、そのうちの1人は対戦相手の馬に乗ります。真心さんは相手の馬に乗って競技に臨みました。

▼編集後記

広報まさきの記事には自分にとっても、知らなかったこと、あるいは知っていたけれど考えたことがなかったことが、たくさんあります。それらの記事にじっくりと向き合うことで、自分自身を見つめ直すことも多いです。師走の忙しいこの時季。じっくりとまではいかないですが、皆さんに少しでも記事を読んでもらいたく、新年に向けて、何かのきっかけとなればいいなと思います。(松田)

特集の取材で、松前小の子どもたちに話を聞きました。「障がいのある人に優しいまちづくり」についての発表後、車いすをプレゼントするため、クワスのみんなでプルタブを集め始めたそうです。再び取材に訪れるまでの数日間、たくさん集まったプルタブ。それらを笑顔で見せてくれたとき、子どもたちのパワーに驚かされました。

この子どもたちの思いを大人の私たちと一緒に広げていき、みんなに優しいまちにしていきたいですね。(久保)

Proud!
Japan

※日本児童労働撲滅を支援しよう

広報まさきに有料広告を載せませんか？

広報まさきに掲載する有料広告を募集しています。希望者は、町ホームページをご覧になるかお問い合わせください。

◆広告掲載枠

広報まさきの裏表紙
(下欄3枠、1枠の大きさは縦40ミリ×横60ミリ、フルカラー)

◆配布状況

毎月1日発行。発行部数1万1500部。町内全世帯へ配布

◆広告掲載料

1枠、1月当たり2万円

☎総務課広報情報係 ☎985-4132